

1-3	SPECIAL まちの魅力再発見シリーズ 百合ヶ丘
4-5	LOCAL TOPICS 街のトピックス
6	DOCTOR'S COLUMN ドクターズコラム
7	COLUMNS 暮らしのコラム INFORMATION クイズ・プレゼント・他
8	AD 新百合ファーストデンタル しんゆりジャズスクエア HANA-BIYORI「はたるびより」

MYTOWN

SHINYURI

5.15

2025

VOL. 917

TAKE FREE

まちとつながる、あなたとつながる、マイタウン

2025年5月15日号 【発行元】株式会社エリアブレイン 〒215-0004 川崎市麻生区万福寺1-12-2-2F TEL.044-954-2555(代)

SPECIAL

まちの魅力再発見シリーズ

百合ヶ丘

YURIGAOKA



1. 建て替えのため休業していた「ゆりストア」が、「ゆりストア・クリエイティブ SD 川崎百合ヶ丘駅前店」として、3月28日にリニューアルオープン。地上3階建てで、3階にはクリニックモールを併設し、内科・整形外科・泌尿器科・眼科・皮膚科・サロンが6月以降に順次開院予定



2. 「王禅寺見晴らし公園」からの眺め。ここからは晴れた日には富士山も望むことができ、美しい夜景を見に訪れる人も多い



3. 「弘法松公園」かつてここに弘法大師が植えたといわれる松の木があった

4. 「百合ヶ丘第2公園」地域の人々の憩いの場。春には桜が咲く



5. 「高石神社」約370年前に始まったとされる伝統行事「流鏝馬奉納の儀」。現在は馬を使わずに立って矢を射る歩射形式で、五穀豊穡や無病息災を祈る

駅の誘致に端を発したまちづくり

現在はUR賃貸住宅やマンション、戸建て住宅、スーパーや商店が建ち並ぶ「百合ヶ丘」。川崎市の統計情報によると、百合ヶ丘駅南側の百合ヶ丘1丁目から3丁目の人口は9,867人(2025年3月末現在)。この地域は昭和20年代には旧高石の字山後・富士塚・中半郡・半郡・二本松という地名で呼ばれており、起伏の激しい丘陵地帯で農家も数軒しかなかったという。当時、小田急線の西生田駅(現・読売ランド前駅)～柿生駅間には駅がなく、両駅の間を誘致しようという声が昭和26年ごろから高まったのだが、世帯数も人口も少ない当地域では思うように進展しなかったようだ。

状況が一変したのは昭和30年代。日本住宅公団(UR都市機構の前身)が発足し、地主たちの働きかけにより、この地に団地が開発されることが決定した。開発計画には、田畑を失っては生活ができないという理由から反対運動も起こったが、開発を推進する地元の委員会が説得し、昭和33(1958)年から開発工事が始まった。そして昭和35(1960)年3月、同年8

月の百合ヶ丘団地の入居開始に合わせて交通手段を整えるため、「百合ヶ丘駅」が開業。商店第1号の「ゆりが丘ストア」(8年後に「スーパーゆりストア」に改称)も同年8月にオープンした。昭和40年代に入ると、大手デベロッパーによる宅地開発も急ピッチで進み、人口はますます増加した。昭和49(1974)年には隣に新百合ヶ丘駅ができ、多摩線も開通。50年代、新百合ヶ丘駅周辺の開発工事が進むにつれ、百合ヶ丘駅周辺の商業施設などの建設計画も活発になっていった。

百人余りが力を合わせてできた「百合ヶ丘」

百合ヶ丘という町名は地元高石の人々により名付けられた。百合ヶ丘の誕生に協力した地主が128人、百人余りが力を合わせてできたので「百合ヶ丘」、すなわち「百合ヶ丘」だということ、弘法松付近の山々に百合の花が咲き乱れていたこと、神奈川県の花が山百合であることなどが考慮されたという。

散歩で訪れたい憩いの公園や歴史的スポット

百合ヶ丘には「王禅寺見晴らし公園」(写真2)、「弘法松公園」

(写真3)、「百合ヶ丘第2公園」(写真4)、「百合ヶ丘第3公園」「百合ヶ丘第4公園」など、大小さまざまな公園があり、地域の人々が憩いの場として利用している。また、百合ヶ丘駅北口より右前方に見える、樹木が生い茂った高台の頂上には「高石神社」(写真5)が、江戸時代には「伊勢宮」と呼ばれ、その周辺も「お伊勢の森」と呼ばれていた。正月や毎年成人の日に行われる伝統行事「やぶさめ」の日などには多くの人々が訪れるが、普段は静寂に包まれ、凛とした空気が漂っている。

二つの商店会と個性的な店の数々

現在、「百合ヶ丘駅前商店会」の加盟店34店舗と「百合ヶ丘中央商店会」加盟店24店舗、その他にも個性的な店・地元愛にあふれる店が百合ヶ丘には多数あり、本紙2・3面ではそれらの店の一部を紹介している。先に紹介した公園や歴史的スポットなどとあわせて、ゆっくり巡ってみてはいかがだろうか。

参考:『マイタウンゆりがおか』(昭和55年8月1日発行号、昭和57年2月1日発行号)、『ゆりストアの歩み』(百合ヶ丘産業株式会社、平成元年5月発行)、『高石、百合ヶ丘の資料とアルバム』(高橋妙、平成9年6月発行)

“不動産を売るとき”って、どうしたらいいの？ 専門家に学ぶ「不動産の上手な売り方無料個別講座」開催

5月11日(日)～5月31日(土)開催! 参加無料・要予約
売却のノウハウを専門家が分かりやすく伝授

日本では相続財産の約4割を占めるのが不動産だそう。分割が難しい土地や建物は相続時の大きな課題の一つ。いざ相続が発生してから不動産を売却しようとしても、思い通りにいかなかったり、時間がかかったりしてしまうケースも見られます。最近では、住む予定の無い実家などの空き家や空き地の売却について悩んでいる人も多いそう。事前にできる準備で労力を軽減し、早めの対策を考えておきたいものです。

そこで、三井住友トラストグループの「三井住友トラスト不動産」では、5月11日(日)～5月31日(土)の期間中、不動産売買の悩みや不安を解決するための「不動産の上手な売り方無料個別講座」を、新百合ヶ丘駅チカの大塚新百合ヶ丘ビルで開催します。

売買の基本から価格査定まで
将来を見据えた賢い不動産売却術

無料個別講座では、不動産売却の契約の流れ、進め方のポイントや注意点、売却にかかる諸経費など、不動産を売るときに事前に知っておきたい知識を分かりやすく解説。「相続する親の実家をどうしよう?」「今の相場はどれくらい? タイミングは?」「解体して更地にすべき? そのままでいい?」などさまざまなケースを踏まえ、不動産売却の基礎からノウハウを伝授してくれます。

今や土地や建物の売却は土地活用の選択肢の一つ。多くの不動産売買に関わった専門家から、得する売却・損する売却を学んでみませんか?

不動産の売却について悩んでいる人は、この機会に参加を。不動産の価格査定相談にも無料で応じてくれます。

不動産の上手な売り方無料個別講座

■会場/大塚新百合ヶ丘ビル2階会議室
(三井住友トラスト不動産 新百合ヶ丘センター)
麻生区上麻生1-5-3(三井住友信託銀行 新百合ヶ丘支店)
小田急線「新百合ヶ丘」駅南口徒歩3分

■日時/5月11日(日)～5月31日(土) ※水・祝定休
①10:00～ ②11:00～ ③13:00～
④14:00～ ⑤15:00～ ⑥16:00～
※希望日時の3日前までにお申し込みください
※相談したい不動産の所在地を伝えてください

■定員/各日・各回1組
■参加費/無料(要予約)
■参加特典/「不動産売買ガイドブック」をプレゼント
■予約・申し込み/☎0120-83-0511

講座事務局(新百合ヶ丘センター内)
9:30～17:30



参加者には売買の流れが分かるガイドブックを進呈

